

幼稚園児招き稚魚放流

宮坂建設工業

「自然の大切さ感じて」と

施工している「十勝川改修東音更築堤ほか河岸保護」(帯広開建発注)の現場に幼稚園児を招いて、十勝川水系音更川へのヤマベの稚魚の放流を行った。園児は「大きく育つてね」と元氣一杯に呼ぶたバケツを持った園児が川沿いに並び、放流の準備を整えた。



【帯広発】宮坂建設工業(株) 帯広、宮坂寿文社長は二日、同社が音更町内で

社会貢献の一環として、同社社員のかげ声で二斉工事完成後の音更川の自然に放流。園児は、「大きく帰帰促進や、園児に自然の育つてね」「バイバイ」と大切にやふれあう楽しさを元氣一杯に声をかけながら、ヤマベの稚魚を優しく体験してもらうため企画した。学校法人大谷学園に放した。同社の高道伸常務は音更幼稚園の年中組園児六十人が参加した。「きょうの取組は、川の自然放流前に同社社員が、「魚は生き物だから、優しく川に放してあげて」「川は冷たいから友達とふざけて押し合ったりしないで」と注意事項を説明。稚魚の入ったバケツを手に、思い行った。自然や命の大切さなど多くのことを学んでほしい」と話していた。